

シチズングループの環境経営

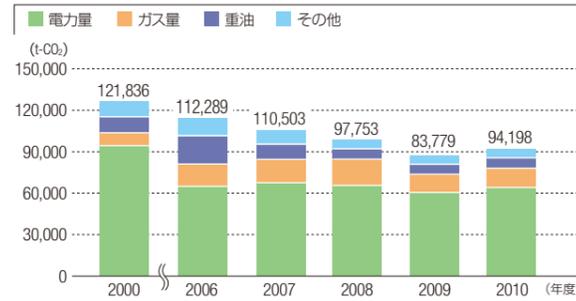
地球温暖化ガスの削減

より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。
シチズンホールディングス CSR 環境とシチズン 地球温暖化ガスの削減

地球温暖化ガスの排出量削減

シチズングループではCO₂排出削減を効率的かつ着実に進めるため、各事業所の有効な活動を取り入れながら省エネ活動に努めています。2010年度のエネルギー起源CO₂の排出量は、2009年度比12%増の94,198トンとなりましたが、中期計画の2000年度基準では10%削減の目標に対し、約23%の削減となり、目標を達成しました。今後も高効率機器の導入、省エネ制御の採用などを積極的に実施していきます。

シチズングループのCO₂排出量の推移



事例紹介

太陽光発電パネルの設置

シチズンセイミツではCO₂排出量の削減方策の一つとして、本社接客棟の屋根に太陽光発電パネルを2010年9月に設置しました。15kWh/年の発電量を見込んでいます。また接客棟の玄関口にモニターを設置して日照時間や発電量などを表示して、お客様に対しても環境に配慮した事業活動として紹介しています。その他の環境投資として、吸気式冷水機をターボ式冷凍機に入れ替えることにより、CO₂排出量400トン/年を削減しました。2011年度以降も中期の環境方針に沿って環境負荷低減とコスト低減活動を進めていく予定です。



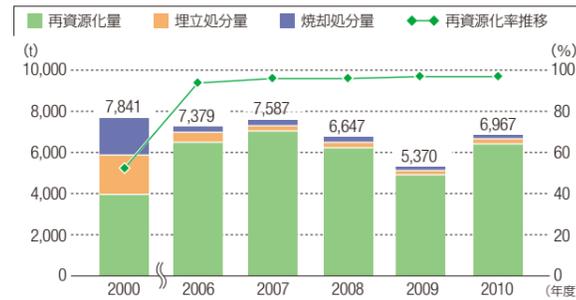
太陽光発電パネル

資源の有効活用と廃棄物の削減

廃棄物削減活動の推進

シチズングループでは、循環型社会に寄与するため、廃棄物となるごみをゼロにする活動に取り組んでいます。2010年度はグループ全体で再資源化率は99%となり目標達成、国内では17事業所がごみゼロ(再資源化率99%以上)を達成しました。廃棄物については、廃棄物総量^{※1}で約1,023トン増加しました。2011年度は、グループ全体で再資源化率99%以上(ごみゼロ達成)の維持を目標としていきます。

シチズングループの排出物量^{※2}の推移



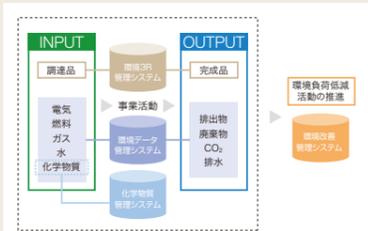
※1: 廃棄物総量=産業廃棄物量+一般廃棄物量
※2: 排出物量=産業廃棄物量+一般廃棄物量+有価物量

事例紹介

環境3Rおよび改善管理システムの運用

シチズンセイミツでは、「3R活動から5億円の利益を創出する」という中期環境目標(2010~2012年度)のもと、製造プロセスの環境改善活動をスタートし、2010年度に管理システムを構築しました。まず事業活動によって発生する環境負荷を把握するため「環境3R管理システム」を構築し、調達品(インプット)の量および金額と完成品(アウトプット)の量および金額を定量的に集計しています。さらに環境改善テーマを「環境改善管理システム」に登録することにより環境改善活動の効果を削減量および金額にて集計しています。

2010年度に改善管理システムに登録したテーマ数は98件、効果金額は67.8百万円となりました。今後、環境3Rおよび改善管理システムを有効的に活用し、環境改善活動をさらに強化していき、子会社3社へも展開し、目標達成に取り組んでいきます。



より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。
シチズンホールディングス CSR 環境とシチズン 資源の有効活用と廃棄物の削減

有害化学物質の削減

より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。
シチズンホールディングス CSR 環境とシチズン 有害化学物質の削減

有害化学物質の使用量の削減

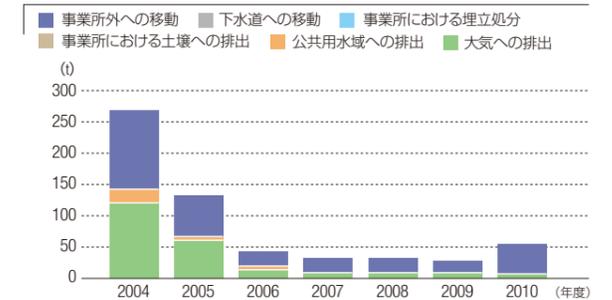
シチズングループでは、2003年度より塩素系有機溶剤や代替フロン(HCFC類)の使用量削減に取り組み、2008年に全廃しました。なお、2010年度のシチズングループ全体のPRTR^{※3}物質の届出状況は下のようになりました。法律の改正等により、届出物質数は4物質が11物質に増加しました。取り扱い量も92.5トンと2.8倍になりました。

PRTR物質の排出量・移動量 (単位: t)

化学物質名	取扱量	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	事業所における土壌への排出	事業所における埋立処分	下水道への移動	事業所外への移動
塩化第二鉄	33.9	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	
1-ブロモプロパン	16.2	3.9	0.0	0.0	0.0	9.2	
キシレン	11.6	1.5	0.0	0.0	0.0	3.4	
ニッケル化合物	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	
メチルナフタレン	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
硝酸水素及びその水溶性塩	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	
1,2,4-トリメチルベンゼン	2.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.6	
トルエン	1.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.7	
無機シアン化合物(硝酸及びシアニドを除く)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
鉛	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ベンゼン	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	92.5	7.4	0.0	0.0	0.0	53.4	

※3: PRTR法
有害性のある化学物質がどのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを、国、事業者などの機関が把握・集計・公表する法律(化学物質排出把握管理促進法)

PRTR物質の排出量・移動量の推移



事例紹介

化学物質管理システムの活用

欧州のREACH規則^{※4}、RoHS指令^{※5}をはじめ世界の有害化学物質規制が強化されてきている中、シチズンシステムズでは、製品含有化学物質管理システムを活用し、製品を構成する部品の化学物質情報を一元管理し、化学物質含有量を集計するシステムを構築しています。このシステムを有効利用することにより、お客様からの環境情報提供の要請に短期間で対応することが可能となりました。



環境配慮型製品の充実

環境配慮型製品の拡大への取り組み

シチズングループでは、「環境配慮型製品」の充実への取り組みを行っています。開発段階から多項目の環境製品アセスメント(評価)を実施し、「省資源・省エネルギー」「再資源化(リユース・リサイクル)」「長期使用性」「環境保全性(有害化学物質管理)」「環境情報の提供」「包装材」などの評価基準をすべて満たした製品を環境配慮型製品に認定しています。新規モデルに占める環境配慮型製品の割合を2008年度中に100%にすることを目標とし、本格的に取り組みを開始した2005年度以来増加し、2009年度からはほぼ100%の実績となっています。

なおREACH規則、RoHS指令への対応については、管理システムを導入し、化学物質管理を実施しています。

※4: REACH規則 化学品の登録、評価、認可に関するEUの規則。一定量以上の化学物質を扱う企業は、当該物質の特定や危険性に関する情報の登録などが義務づけられる。2007年6月1日から施行されています。
※5: RoHS指令 EUの有害物質使用制限指令(2006年7月より鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の6種類の化学物質を含有した電気・電子機器製品の販売がEU域内で禁止される)

より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。
シチズンホールディングス CSR 環境とシチズン 環境配慮型製品の充実

事例紹介

環境にやさしいNC自動旋盤シンコム[®]の開発

マザーマシンと呼ばれる工作機械は、ライフサイクル評価の視点からも環境配慮の取り組み効果は非常に大きいといえます。シチズンマシナリーミヤノが開発した「M32 VII型」は省エネルギーや有害化学物質の不含有などの評価項目を設定し、開発しました。工作機械には多くのモータや重い可動部があり、加工に必要なエネルギーの見極めや、消費電力量の「見える化」で、無駄なエネルギーを徹底的に削減する取り組みを行いました。また有害化学物質の不含有については、約3,000点からなる構成部品を一点一点調査し、対応をとることで実現しました。

